

ポブベっくのやさしい投資信託

第19回 特殊な債券に投資するファンド その3

前回はハイ・イールド債に投資するファンドについて、その魅力を解説しました。今回は、モーゲージ債やABSに投資するファンドについて解説しましょう。

(6-D)特殊な債券に投資するファンド

モーゲージファンド

モーゲージファンドとはモーゲージ債を購入するファンドのことを言います。モーゲージ債とは住宅ローンを債券にしたものです。アメリカのモーゲージ債の場合、元本は国、または国と同様に信用力の高い会社が保証していますから、安全性が非常に高いのです。デフォルトはほとんど無いと言って良いでしょう。では、モーゲージ債を購入するモーゲージファンドも元本は安全なのでしょうか？そんな事はありません。

モーゲージ債も普通の債券と同じく、金利が上昇する事で価格は下落します。その結果元本を割る事だとして十分に考えられるのです。その上、モーゲージ債には別のリスクもあります。それは期限前償還です。住宅ローンを借りた人は、金利が下がったり、お金が溜まった場合には予定より速く返済してしまいます。そうすると住宅ローンを債券にしたモーゲージ債も償還されてしまうのです。これを期限前償還と言います。残存期間10年、5%の利回りのモーゲージ債を購入したとしても、その債券が10年経たずに償還されてしまうかもしれないのです。そうすると10年間の運用予定が、その時点で振り出しに戻ってしまいます。額面よりも高い値段で買っていたとすると、額面で償還されますから、償還損となってしまうのです。こう言ったリスクがあるので、モーゲージ債はデフォルトの可能性が非常に小さいにも関わらず、国債よりも魅力的な利回りとなっているのです。

モーゲージ債の場合、分散投資の効果は小さいですが、非常に理解が難しい債券で

すので、専門家に任せる、言い換えると、投資を利用するメリットは大きいと言えるでしょう。

ABSファンド

ABSとは Asset Backed Securities、日本語に訳すと資産担保証券の事です。日本語に訳しても理解が難しい事には変わりないのですが、簡単に説明すると、リースとかクレジットカード、車のローン、そしてオフィスビルなどを債券の形にしたものなのです。で説明したモーゲージ債も、ABSの一種です。

投資が購入する場合、そのほとんどがAAA、つまり非常に元本返済の安全性が高いものです。しかし、AAAだとしても、リスクはあります。一つは国債と同じように、金利が変動したときに債券価格が変動するリスク、そしてもう一つは、売りたいときに売れないリスクです。ABSは、その発行額が非常に小さい事が多く、売りたいと思った時に、都合良く買いたい人が現れるかどうか分からないのです。その分だけ利回りは高くなります。そうすると、資金の出入りが激しいファンドだと、購入するのはリスクが高くなりますね。クローズド期間が長いとか、または償還まで解約が出来ないファンドでないと、価格変動のリスクが大きいかもしれません。

更に、ABSの場合、「仕組み」のリスクもあるのです。しかし、ABSの「仕組み」が記述されている発行目論見書は非常に分厚く、個人投資家がこの目論見書を十分に吟味し、どういった場合にデフォルトになるかを理解する事は、非常に困難でしょう。投資信託を通して専門家に任せるメリットは大きいのです。

～ 以外の債券を購入するファンド

今まで説明した債券以外にも、様々な債券があります。そして、利回りは国債よりも高いかもしれませんが、何らかのリスクが必ず存在するのです。リスクは全くないのに、利回りは国債よりも良いと言うことは、絶対にあり得ないのです。